

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、6月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「新しい〇〇情報学」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■タイトルを見たときあまり興味を持たず、それほど期待してなかったが、いざ記事を読んでみると、さまざまな分野における情報処理の今を感じることができ大変勉強になった。
(匿名希望)

■続きとして、他の〇〇情報学についても特集してほしい。
(花田英輔)

■いろいろな分野のことが書かれていて面白かったと思います。
(匿名希望)

■〇〇情報学ということですが、生産情報学、製造情報学などの記事も読みたかったです。
(匿名希望)

■新たな知的好奇心をかき立てられ、大変楽しく拝読いたしました。一般的な内容を知ることができたので、さらに詳細な内容を知りたい方のために何か参考となる情報等を掲載していただけると、より簡単に情報を取得でき良かったと思います。
(匿名希望)

■これからは、ITそのものというのも大事だとは思いますが、ITを使って何をやるかが重要になってくると考えられるので、IT+〇〇というような事柄にもスポットライトを当ててほしいと思う。
(匿名希望)

■エンタテインメント情報学は最先端の領域であり、大変興味深く読みました。学生(学部学生)にも閲覧させたところ、大きな関心を寄せるものがこちらの予想以上に多く、学生も関心を持っていることが分かりました。
(水野光朗)

■今回の記事でまた「情報処理」を見る視野が広がったように思う。もっと柔軟な目で見れば、もっと多様な形があり得るのだらうと思うとわくわくしてきた。たとえば「情報処理」発展に対する「警鐘」のようなものもあればよいと思う。
(岩井真澄)

■良い特集に感じました。新しい分野では背景等が分からないものが多いですが、今回の特集でそれが分かるようになった分野があり、とても参考になりました。
(匿名希望)

■〇〇情報学は新産業の創出につながるもので、ソフト技術者にとって明るい未来を感じました。しかし一方で、行政の無策や大手企業の横暴など、未来につきまとう陰も感じます。情報学が発展し社会に貢献するために乗り越えるべき壁について取り上げてもらいたいです。
(阿南佳之)

■分野によっては過去の焼き直しのものもあるが、全体的にわくわく感があって良かった。
(河野美也)

■農業県・秋田に住んでいることもあり、農業とのかかわりに興味を持っています。そのため、「農業情報学」の記事はとても勉強になりました。
(廣田千明)

■研究の技術的な側面の特集ではなく、モチベーション的な側面の特集は新鮮なのでとても興味深く読みました。
(菊川真理子)

■大変、興味深く、面白く読みました。情報の新しい捉え方や研究の動向を知ることができ、研究会活動(DD研)にも参考となりました。
(高橋慈子)

■「農業情報学」は、「農業」と「情報」という普段あまり目にしない組み合わせでしたが、興味を持って読むことができました。できれば、回を改めてさらに詳しく解説していただけたらと思いました。
(匿名希望)

■今回のテーマは社会学に近い内容が多く、詳細な技術についての説明が少なかった。そのため、挙げられている問題が技術で解決できるかどうかとも懐疑的になってしまう面があった。
(匿名希望)

■情報学と他の分野の融合について興味深く読むことができ、良かったです。
(匿名希望)

■「新しい〇〇情報学」という特集の視点は大変よく、期待して読んだ。各々が概説的なものであるが、テーマやその領域について興味をかき立てられるものと、要するに何を目的としているのか理解できなかったものに分かれた。後者は、もう少し領域を絞るか、時間を経て成果が目に見えてくれば「なるほど〇〇情報学」と納得できるものとなるのではないかと。
(匿名希望)

■強引に〇〇情報学を集めているが、特集する意義を見出せなかった。むしろ、連載で毎号1つを取り上げたほうが良かったのでは。
(匿名希望)

■自身の研究フィールドに関係のあるものなど、紹介されていた「新しい〇〇学」はどれも大変興味深いものでしたが、そのいずれもが人文科学、社会科学的側面を持つものであり、これからの情報処理において人間という要素が重要になってくることを予感させるものでした。
(大竹杏奈)

解説「モバイル WiMAX の最新動向」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■今やインターネットは日々の生活の中で空気のように溶け込んでいる。その中でも最も身近な携帯の現在の動向を理解することができた。今以上に発展したインターネットがどのようなようになるのかとても楽しみである。(匿名希望)

道しるべ「生命情報学—ゲノム情報ビッグバン—の進展—」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■生命情報学に関して、今号の記事を補足するような解説記事を期待します。具体的には、接尾辞配列 (suffix array)、Burrows-Wheeler 変換、などの用語や、生命情報学で用いるプログラミング言語 (R 言語, Perl …) や、データベース (配列、オントロジー …) などのソフトウェアについての解説です。(大垣憲俊)

■ゲノム情報学における最近の動向についての記事ですが、やはり約 30 億といわれる長さの塩基対の読取り速度についての話でした。生物学者のクリック、ワトソン両氏が自然の産物である DNA 二重らせん構造を発見してノーベル賞を受賞なさったというのは分かるのですが、そのデータを解読する作業というのは、いたずらに情報のゴミあさりをしているようにしか見えず、なにも多額の国税をかけてまでやる必要があるのかというのが素朴な疑問です。それよりも宇宙の年齢を約 200 億年とすると、その時間内にこれだけの生態系と人間という高度な知的な生命体が活動しているという事実こそ、大いなる神秘を感じております。(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■書評で取り上げられた「計算力学シミュレーションハンドブック」はスーパーコンピュータでどのようなことが行われているのかがまとめられている本ということで、技術的なことについては読んでも理解できないかもしれませんが、シミュレーションの対象として取り上げられている事象だけでも、さっと目を通して一通り把握したいと思いました。(大竹杏奈)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

- 海外動向を中心としたスマート IT。(匿名希望)
- 山手線の車内広告でスマートなエネルギーへの取り組みを世界ですすめている IT 企業の紹介をみかけました。具体的にどんな形で情報研究がかかわっているか、取り上げていただける機会があればうれしいです。(匿名希望)
- 「自然言語生成」の現状と今後の方向性。(人見憲司)
- 機械学習の最新動向について、特集を組んでいただければと思います。(匿名希望)

【本欄担当 中村大賀, 横山昌平 / 書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IP SJ カレンダー

| 開催日 | 名 称 | 論文等応募締切日 | 参加締切日 | 開催地 |
|------------|--|-----------|---------|---------------------------|
| | 論文誌「トラス・マネジメント」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/english/edit/jip/specialissue/11-L.html | 10月31日(日) | | |
| | 会誌「情報処理」52巻表紙デザイン募集 http://www.ipsj.or.jp/07editj/topic/design-boshu52.html | 11月1日(月) | | |
| | 平成22年度フェロー候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/fellow/H22/suisen_yoryo.html | 11月4日(木) | | |
| | 論文誌「人と共存するコンピュータセキュリティ技術」 特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editj/journal/tokushu/11-N.html | 11月30日(火) | | |
| | 論文誌「組込み/リアルタイムソフトウェア」特集への 論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editj/journal/tokushu/11-M.html | 11月30日(火) | | |
| 9月16日(木)～ | 第198回自然言語処理研究発表会 | 7月30日(金) | 当日のみ | 国立情報学研究所 |
| 9月17日(金) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/NL198.html | | | |
| 9月16日(木)～ | グループウェアとネットワークサービスワークショップ2010 (GN Workshop 2010) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/GNWS2010.html | 8月13日(金) | | ナスパニューオータニ |
| 9月17日(金)～ | 第144回マルチメディア通信と分散処理研究発表会 | | 当日のみ | 飛騨センター |
| 9月18日(土) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DPS144.html | | | |
| 9月21日(火) | 東海支部主催講演会「脳情報の解読に基づく福祉機器制御シス テムの開発」 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html | | | 名古屋大学 |
| 9月22日(水) | 平成22年度関西支部支部大会 http://www.ipsj.or.jp/sibu/kansai/ipsj-kansai/sibutaikai_22/index.html | 6月25日(金) | | 大阪大学中之島 センター |
| 9月22日(水) | 第131回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/AL131.html | 7月16日(金) | 当日のみ | 函館工業高等専門学校 |
| 9月24日(金) | 第77回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DD77.html | 7月21日(水) | 当日可 | 筑波大学東京 リエゾンオフィス |
| 9月25日(土) | 平成22年度電気関係学会四国支部連合大会 http://sjcee.ymw.ne.jp/ | 7月23日(金) | | 愛媛大学城北 キャンパス |
| 9月25日(土)～ | 平成22年度第63回電気関係学会九州支部連合大会 | 7月20日(火) | | 九州産業大学 |
| 9月26日(日) | http://www.jceee-kyushu.jp/ | | | |
| 9月28日(火)～ | 第80回数理モデル化と問題解決研究発表会 | 8月3日(火) | 当日のみ | 北海道大学 学術交流会館 |
| 9月29日(水) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/MPS80.html | | | |
| 9月29日(水)～ | JABEE 情報および情報関連分野審査講習会および技術者教育セミナー | | 定員になり次第 | 化学会館 |
| 9月30日(木) | http://www.ipsj.or.jp/12kyoiku/acre/T-Acc2010.html | | | |
| 10月2日(土) | 第106回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE106.html | 8月16日(月) | 当日のみ | 秋田大学 |
| 10月2日(土) | 情報処理北海道シンポジウム2010 Info-Hokkaido 2010 http://hokkaido.ipsj.or.jp/info2010/ | 8月27日(金) | | 北海道大学情報科学 研究科棟2F |
| 10月5日(火)～ | 第146回システム LSI 設計技術研究発表会 | 7月21日(水) | 当日のみ | 幕張メッセ 国際会議場 |
| 10月6日(水) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SLDM146.html | | | |
| 10月11日(月) | 学会創立50周年事業「トッププロ棋士に勝つためのコンピュータ将棋プロジェクト」 コンピュータからの挑戦 特別対局「清水市代女流王将 vs. あから2010」 http://www.ipsj.or.jp/50anv/shogi/press2.html | | 当日のみ | 東京大学 本郷キャンパス 工学部2号館 |
| 10月13日(水) | 第127回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/HPC127.html | 8月6日(金) | 当日のみ | 理化学研究所 和光キャンパス |
| 10月14日(木)～ | 第87回音楽情報科学研究発表会 | 8月18日(水) | 当日のみ | KDDI 研究所 (上福岡) |
| 10月15日(金) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/MUS87.html | | | |
| 10月15日(金) | 第11回インターネットと運用技術研究発表会 http://iot.ipsj.or.jp/news/iot11-cfp | 8月20日(金) | 当日のみ | 大阪市立大学 杉本キャンパス |
| 10月18日(月) | 第183回計算機アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/ARC183.html | 8月27日(金) | 当日のみ | 早稲田大学 西早稲田 キャンパス |
| 10月19日(火) | 連続セミナー 2010 第4回「クラウドコンピューティング技術の肝(要素技術)」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html | | 定員になり次第 | 東京電機大学 丹羽ホール |
| 10月21日(木) | 東海支部主催講演会「音声対話インターフェース・会話ロボットの最新技術」 http://www.ipsj-tokai.jp/ | | 参加費無料 | 名古屋大学 東山キャンパス |
| 10月23日(土) | 平成22年度(第61回)電気・情報関連学会中国支部連合大会 http://rentai.csse.oka-pu.ac.jp/ | 8月10日(火) | | 岡山県立大学 (岡山県総社市) |
| 10月27日(水) | 第160回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/ICS160.html | 9月6日(月) | 当日のみ | 新富良野 プリンスホテル |
| 10月27日(水)～ | 組込みシステムシンポジウム (ESS2010) | 6月24日(木) | | 国立オリンピック記念 青少年総合センター |
| 10月29日(金) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-ESS2010.html | | | |
| 10月28日(木)～ | 第81回プログラミング研究発表会 | 8月27日(金) | 当日のみ | 高知県立文学館 |
| 10月29日(金) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/PRO81.html | | | |
| 10月29日(金) | 第83回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SLP83.html | 8月27日(金) | 当日のみ | 早稲田大学 理工学部 |
| 10月29日(金)～ | 第140回ヒューマンコンピュータインタラクション・ | 9月3日(金) | 当日のみ | 多摩美術大学 八王子キャンパス |
| 10月30日(土) | 第28回ユビキタスコンピューティングシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/HCI140UBI28.html | | | |
| 10月30日(土) | 第88回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CH88.html | 8月23日(月) | 当日のみ | 国立国語研究所 (東京都立川市) |
| 11月4日(木) | 第100回情報基礎とアクセス技術研究会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/sighp/fi/ | 9月3日(金) | 当日のみ | 立命館大学エポック 立命21 |
| 11月8日(月) | 連続セミナー 2010 第5回「電子行政・社会基盤サービスを担うセキュアクラウド」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html | | 定員になり次第 | 東京電機大学 丹羽ホール |
| 11月8日(月)～ | 第141回グラフィクスとCAD研究発表会 | 8月24日(火) | 当日のみ | 広島市立大学講堂 |
| 11月9日(火) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CG141.html | | | |

| 開催日 | 名称 | 論文等応募締切日 | 参加締切日 | 開催地 |
|------------|---|-----------|---------|--------------------|
| 11月11日(木)～ | 第56回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・ | 9月5日(日) | 当日のみ | 神戸大学 六甲台地区 |
| 11月12日(金) | 第43回高度交通システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/MBL56ITS43.html | | | |
| 11月11日(木)～ | 第170回ソフトウェア工学研究発表会 | 9月10日(金) | 当日のみ | 大阪大学 |
| 11月12日(金) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SE170.html | | | |
| 11月11日(木)～ | WebDB Forum 2010 | 8月27日(金) | | 早稲田大学 理工学術院 |
| 11月12日(金) | http://db-event.jpn.org/webdbf2010/ | | | |
| 11月12日(金)～ | 第151回データベースシステム研究発表会 | 9月21日(火) | 当日のみ | 早稲田大学 理工学術院 |
| 11月13日(土) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DBS151.html | | | |
| 11月12日(金)～ | 第15回ゲームプログラミングワークショップ2010(GPW-10) | 7月26日(月) | 当日可 | 箱根セミナーハウス |
| 11月14日(日) | http://sig-gi.c.u-tokyo.ac.jp/gpw/2010/ | | | |
| 11月18日(木)～ | 第174回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 | 9月6日(月) | 当日のみ | 福岡大学 |
| 11月19日(金) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CVIM174.html | | | |
| 11月18日(木)～ | 第199回自然言語処理研究発表会 | 10月5日(火) | 当日のみ | 広島市立大学 講堂小ホール |
| 11月19日(金) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/NL199.html | | | |
| 11月19日(金) | 第132回アルゴリズム研究発表会 | 9月13日(月) | 当日のみ | 先端科学技術推進機構 |
| 11月20日(土)～ | 第107回コンピュータと教育研究発表会 | 10月4日(月) | 当日のみ | 香川大学 |
| 11月21日(日) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE107.html | | | |
| 11月22日(月)～ | IWSEC2010 International Workshop on Security | | | 神戸国際会議場 |
| 11月24日(水) | http://www.iwsec.org/2010/ | | | |
| 11月25日(木)～ | 第145回マルチメディア通信と分散処理・ | 9月21日(火) | 当日のみ | 法政大学 |
| 11月26日(金) | 第77回グループウェアとネットワークサービス・ 第50回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/DPS145GN77EIP50.html | | | 小金井キャンパス |
| 11月29日(月)～ | コンピュータシステム・シンポジウム(ComSys2010) | 7月16日(金) | | 大阪大学 |
| 11月30日(火) | http://www.ipsj.or.jp/sig/os/index.php?ComSys2010 | | | 中之島センター |
| 11月29日(月)～ | 第147回システムLSI設計技術研究発表会(デザインガイア2010) | 9月3日(金) | 当日のみ | 九州大学 医学部 百年講堂 |
| 12月1日(水) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/SLDM147.html | | | |
| 12月1日(水) | 第114回情報システムと社会環境研究発表会 http://ipsj-is.jp/ | | 当日のみ | 東海大学 高輪キャンパス |
| 12月6日(月) | 連続セミナー2010第6回「次世代クラウドコンピューティングに向けて」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2010/index.html | | 定員になり次第 | 東京電機大学 丹羽ホール |
| 12月9日(木) | 第3回教育学習支援情報システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/sig/cle/ | | 当日のみ | 京都大学 |
| 12月9日(木)～ | 第3回インターネットと運用技術シンポジウム(IOTS2010) | 8月31日(火) | | 山口ケーブルビジョン |
| 12月10日(金) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/IOTS2010.html | | | |
| 12月11日(土)～ | 人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2010」 | | 当日可 | 東京工業大学 |
| 12月12日(日) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/S-CH2010.html | | | |
| 2011年 | 東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/ | 2月28日(月) | | |
| 2月5日(土)～ | 第108回コンピュータと教育研究発表会 | 12月17日(金) | 当日のみ | 東京農工大学 |
| 2月6日(日) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE108.html | | | |
| 3月2日(水)～ | 第73回全国大会 | | | 東京工業大学 大岡山キャンパス |
| 3月4日(金) | http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/73kai/index.html | | | |
| 3月7日(月)～ | 第57回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会 | | 当日のみ | 東邦大学 |
| 3月8日(火) | http://www.ishilab.net/mbl/ | | | |
| 3月10日(木)～ | ネットワーク生態学研究グループ 第7回シンポジウム | | 定員になり次第 | 蔵王ルーセント タカミヤ |
| 3月12日(土) | http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html | | | |
| 3月17日(木)～ | 第115回情報システムと社会環境研究発表会 | | 当日のみ | 専修大学 神田キャンパス |
| 3月18日(金) | http://ipsj-is.jp/ | | | |
| 3月19日(土)～ | 第109回コンピュータと教育研究発表会 | 1月31日(月) | 当日のみ | 神戸大学 |
| 3月20日(日) | http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2010/CE109.html | | | |
| 3月23日(水)～ | The 10th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2011) | | | 東京サピアタワー |
| 3月25日(金) | http://www.isads2011.info.hiroshima-cu.ac.jp/ | | | |
| 7月18日(月)～ | The 2011 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2011) | | | Munich, Germany |
| 7月22日(金) | http://saintconference.org/ | | | |
| 8月30日(火)～ | 6th International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech 2011) | | | 東京 |
| 8月31日(水) | http://www.collabtech.org/ | | | |
| 9月7日(水)～ | FIT2011 第10回情報科学技術フォーラム | | | 函館大学 |
| 9月9日(金) | http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2011/index.html | | | |
| 2012年 | ICPR2012 第21回パターン認識国際会議 | | | つくば国際会議場 |
| 11月11日(日)～ | ICPR2012 第21回パターン認識国際会議 | | | |
| 11月15日(木) | http://www.icpr2012.org/ | | | |

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 8月16日 人材募集情報(8月)更新しました
- 8月16日 会誌「情報処理」52巻表紙デザイン募集
- 8月2日 「トラスト・マネジメント」特集の論文募集、「組込み/リアルタイムソフトウェア」特集の論文募集
- 8月2日 平成22年度フェロー候補者推薦募集(推薦締切:11月4日)
- 7月30日 平成22年度臨時総会のご案内
- 7月28日 情報処理学会誌編集長のブログを開設しました

いま、学会の Web サイトを CMS (Content Management System) 化しようと計画しています。コンピュータ博物館のリニューアルで CMS に出会ったことがきっかけでした。CMS というのは、最初に基本となるテンプレートを作ってしまう、あとは html の知識がなくてもデータを入力さえしていけば綺麗なページに仕上がるといふもので、自動的にサイトマップやパンくずリストも作成されます。CMS の良いところは、どんなにページが増えてもまたページを削除してもリンク切れが起こらないところですが、それはリンクを貼る際に直接 URL を指定するのではなく、CMS でページを管理しているからです。そのためには最初にサイトの構造化をきちっとしておくことが要になります。html で作成する場合は、最初に目次を作って、そこからリンクを貼ってだんだんと下のページを作っていくという、ある意味適当にページをつなげていけばいいという感覚なのですが、CMS の場合は新しいページを作ろうとしたとき、そのページが全体のどこに位置づけられるべきかというのをまず考えてから作らなければなりません。この考え方を逆転させるということが、長年 html でサイトを作ってきた事務局の私たちにとっては非常に難しいことです。

いま、サイト全体の構造を見直すところから始めています。いまは数人のプロジェクトチームだけで試行錯誤しながら勉強していますが、学会 Web サイトは専任のスタッフがいるわけではなく、事務局全員が各々のページを作っているのです。最終的には事務局全員の意識を統一しておく必要があります。一応リニューアルの目標は来年 4 月ですが、どうなりますか。

(後路啓子/会誌編集部門)



■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会 (本部) ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

| 担当 | E-mail | Tel (ダイヤルイン) | 取り扱い内容 |
|------------|----------------------------|--------------|---|
| ■ 会員サービス部門 | | | |
| 会員 | mem@ipsj.or.jp | 03-3518-8370 | 入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金 |
| ■ 会誌編集部門 | | | |
| 会誌編集 | editj@ipsj.or.jp | 03-3518-8371 | 会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権 |
| ■ 研究部門 | | | |
| 論文誌 | editt@ipsj.or.jp | 03-3518-8372 | 論文誌 (ジャーナル) の編集・査読 |
| 調査研究/教育 | sig@ipsj.or.jp | | 研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌 (トランザクション) |
| ■ 事業部門 | | | |
| 事業/国際 | jigyo@ipsj.or.jp | 03-3518-8373 | 全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会 |
| ■ 管理部門 | | | |
| 総務 | soumu@ipsj.or.jp | 03-3518-8374 | 理事会、支部、役員選挙、名誉会員 |
| 経理 | keiri@ipsj.or.jp | | 出納、送金連絡 |
| システム企画 | sys@ipsj.or.jp | | システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース |
| 図書 | tosho@ipsj.or.jp | | 出版物購入 |
| ■ 情報規格調査会 | | | |
| 規格部 | standards@itscj.ipsj.or.jp | | 標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/ |



【特集：人と組織の社会貢献を支えるコンピュータセキュリティ技術】

- 特集「人と組織の社会貢献を支えるコンピュータセキュリティ技術」の編集にあたって 遠藤直樹
- 無線アドホックネットワークにおける属性証明書を用いた通信経路の信頼度評価法 井上慎一郎 他
- 無線通信における物理レイヤ／MACレイヤへのDoS攻撃に耐性を有する整合フィルタを用いた符号化方式 西 竜三 他
- 不正プログラムの起動制御機能を持つDFシステムの提案と評価 藤田圭祐 他
- 文字認識信頼度と視覚的特徴量を用いた画像内文字検索システムの提案 益子 宗 他
- IXP425における暗号処理の効率的なオフロード方式の実装と評価 齋藤孝道 他
- 次世代電子パスポートへの署名偽造攻撃の適用評価* 酒見由美 他
- アイテム間類似度に基づくプライバシー保護協調フィルタリングの提案 多田美奈子 他
- 秘密分散データベースの構造演算を可能にするマルチパーティプロトコルを用いた関係代数演算 志村正法 他
- 数量化理論と攻撃データ (CCCDATASET2009) を利用したボットネットのC&Cサーバ特定手法の提案と評価 三原 元 他
- 侵入挙動の反復性を用いたボット検知方式* 酒井崇裕 他
- ボットネットの連携感染を判定する発見的手法について* 桑原和也 他
- IPトレースバックにおける出国印方式の拡張と評価 村上真教 他
- 機械語命令列の類似性に基づく自動マルウェア分類システム* 岩村 誠 他
- マルウェア感染ホスト検出のためのネットワークスキャン手法と検出用シグネチャの自動生成 吉岡克成 他
- P2Pファイル交換ソフトウェア環境におけるクライアント型情報流通対策システムの提案 松岡正明 他
- Principal Component Analysis of Port-scans for Reduction of Distributed Sensors Hiroaki Kikuchi 他
- SELinux Security Policy Configuration System with Higher Level Language Yuichi Nakamura 他
- 論理プログラミングを基礎とした認可ポリシー記述言語 橋本正樹 他
- ID ベース暗号の信頼構築フレームワーク 金岡 晃 他
- インターネット上の有害情報対策に関する利用者視点に基づく考察 千葉直子 他
- 情報セキュリティ対策における個人の利得と認知構造に関する実証研究 小松文子 他
- 安全なネットワークシステム設計のためのマルチレイヤネットワークモデルの提案と応用 金岡 晃 他
- An Approach to Perform Quantitative Information Security Risk Assessment in IT Landscapes Anton Romanov 他

【特集：未来志向のソフトウェア工学】

- 特集「未来志向のソフトウェア工学」の編集にあたって 岸 知二, 鷗林尚靖
- プロセス間競合を考慮した自己適応システムの形式仕様構築 中川博之 他
- ベイジアンネットワークを用いたソフトウェア実装技術の選択支援 風戸広史 他
- 脆弱性に関する影響の可能性を警告するリファクタリング 丸山勝久 他
- 多重マルコフ連鎖に基づく精密化利用モデルの構築とその適用例 高木智彦 他
- 大規模組織におけるソフトウェアプロセス改善活動の適用評価～10年間の実践に基づく考察～ 小笠原秀人 他
- Cプログラムの割り込み競合の動的検出法 荒堀喜貴 他

【一般論文】

- Entropy as Computational Complexity Tadao Takaoka 他
- RSA 暗号プロセス自動生成システムの設計と評価* 馬場祐一 他
- プログラム自動可視化ツール Avis を利用した結合テスト実施のための実行経路抽出手法の提案 喜多義弘 他
- 端末の改造が不要な NAT 越え通信システム NTSS の提案と評価 宮崎 悠 他
- 通信グループに基づくサービスの制御が可能な NAT 越えシステムの提案* 鈴木秀和 他
- ユビキタスセンサ環境におけるセンシング周期に基づくP2Pネットワーク* 小坂佳弘 他
- P2P ネットワークにおける Bloom Filter を用いた移動履歴に基づくユーザ探索手法の提案* 白木 徹 他
- 災害時救急救命支援に向けた電子トリアージシステムの設計開発* 木山 昇 他
- Clustering Large Sparse Text Data: A Comparative Advantage Approach Jie Ji 他
- Soft Decision Feature による姿勢変化に対応した人物追跡 山下隆義 他
- 音声認識で生成した英語字幕による英語理解向上の測定実験* 下郡信宏 他

*: 推薦論文 Recommended Paper

†: テクニカルノート Technical Note

訂 正

本誌 51 巻 6 号 (2010 年 6 月号) の道しるべ「生命情報学—ゲノム情報ビッグバンの進展—」の著者森下真一氏の申し出により以下の通り訂正いたします。

p.711 のアブストラクトおよび, p.712 の左段 11 行目 (誤) 約 500 万ドル (正) 約 5 億ドル

本誌 51 巻 8 号 (2010 年 8 月号) の特集「エネルギーの情報化：1. エネルギーの情報化とは—背景, 目的, 基本アイデア, 実現手法—」に誤りがありました。お詫びして以下の通り訂正いたします。

p.927 の図 -2 (誤) シャノン通信倫理 (正) シャノン通信理論
ブラウアー直感主義 ブラウアー直観主義

会誌「情報処理」52巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

応募条件 ・表紙のデザイン（裏表紙、背表紙は含まず）。

- ・A4判（天地 297mm× 左右 210mm）4色フルカラー。
- ・描画手法は問いません。
- ・「情報処理」の題字、巻号、法定文字、記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
- ・応募資格は問いません。
- ・詳細は会誌編集部門までお問い合わせください。

注意事項 ・応募作品は返却いたしません。

- ・採用作品の掲載にあたって、学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
- ・採用作品の著作権（著作権法第27条、第28条の権利を含む）は情報処理学会に帰属します。
- ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について、第三者との間に紛争が生じた場合は、作者がその責を負う）。
- ・応募される場合は、上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 平成22年11月1日（月）（必着）

結果通知 平成22年12月下旬

賞 金 採用者1名に5万円

送付先／照会先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)

賛助会員 (企業) 31,500 円 ()

賛助会員以外の企業 52,500 円 ()

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■大分大学工学部知能情報システム工学科

募集人員 教授 1名
 所属 計算機システム講座
 専門分野 拡張現実感, 可視化情報学
 担当科目 コンピュータグラフィクス, オペレーティングシステム, 情報ネットワーク, プログラミング関連科目
 応募資格 博士の学位を有する方。大学院博士後期課程の教育および研究指導ができる方。専門分野に関して十分な研究業績を有し, 今後の発展が期待できる方。工学の基礎分野を含む教育および学部・学科運営に熱意を有する方
 着任時期 平成23年4月1日 (予定)
 提出書類 個人調書 (様式は大分大学工学部の Web ページ (<http://www2.cc.oita-u.ac.jp/eng/index.html>) からダウンロードしてください), 主要論文別刷 (5編, コピー可), 今後の教育および研究に対する抱負 (それぞれ1500字以内), 推薦書1通または参考意見を求め得る方2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成22年9月30日 (必着)
 送付先 〒870-1192 大分県大分市旦野原700 大分大学工学部総務係 係長 酒井智子
 「知能情報システム工学科教員応募書類」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません。
 照会先 知能情報システム工学科 学科長 末田直道 E-mail:sueda@oita-u.ac.jp Tel(097)554-7880 Fax(097)554-7880
 その他 【選考方法】書類審査による選考の後, 必要に応じて面接やプレゼンテーションをお願いすることがあります。ただし, ご来学いただく場合には旅費等は応募者の負担となります
 *応募書類に含まれる個人情報は, 選考および採用以外の目的には使用いたしません

■神奈川工科大学情報メディア学科

募集人員 任期制助教 2名
 専門分野 デザイン・美術分野およびゲーム分野
 担当科目 情報メディア基礎演習, 情報メディア演習, ゲームクリエイタ特訓等
 応募資格 デザイン・美術分野: 大学もしくは大学院でデザイン・美術関係の教育を受け, 作品制作やデザイン・美術分野での研究の経験があり, 情報メディア関連分野の教育に熱意がある方。修士号取得済み以上であることが望ましい
 ゲーム分野: ゲーム制作の経験やゲーム制作にかかわる技術分野の研究・開発の経験があり, 情報メディア関連分野の教育に熱意がある方。修士号取得済み以上であることが望ましい
 着任時期 平成23年4月1日以降, またはそれ以降のできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書・教育研究作品業績リスト, その他特記事項 (学会活動, 社会活動, 経験業務内容など)*, 主な作品または論文別刷 (3編以内, 作品は作品紹介でも可), 教育および研究に対する抱負を各1000字程度, 推薦書 (または所見を求め得る方1名以上の氏名と連絡先) *については書式自由ですが, 採用の場合には所定書式のものを用意していただきます。また, 面接時には健康診断書を用意していただきます
 応募締切 平成22年9月30日 (必着)
 送付先 〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 神奈川工科大学庶務担当部長気付 情報メディア学科教員選考委員長
 「情報メディア学科教員応募」と朱書き書留 *提出書類は原則として返却いたしません
 照会先 情報メディア学科 教授 佐藤 尚 E-mail:sato@ic.kanagawa-it.ac.jp Tel(046)291-3247

■共愛学園前橋国際大学国際社会学部

- 募集人員 教授・准教授または講師のいずれか 1名
 専門分野 情報システム
 担当科目 情報リテラシー科目、情報システム、情報技術、マルチメディアなど
 応募資格 博士号取得、もしくはそれと同等以上の研究歴・研究業績を有すること（平成23年4月までの博士号取得見込みも可）。PG、SE、PMなどとしてソフトウェア開発やシステム構築に携わった実務経験、または教育機関や企業等における情報教育や検定試験指導の経験を有することが望ましい。その他、「JREC-IN研究者人材データベース」の本公募のページをご覧ください
 着任時期 平成23年4月1日
 提出書類 応募用紙、教員個人調書、教育研究業績書（以上本学所定の書式）、主要研究業績3点（コピー可）、推薦者があれば、その推薦書。本学所定の書式は、「JREC-IN研究者人材データベース」の本公募のページからダウンロードできます
 応募締切 平成22年10月1日（必着）
 送付先/照会先 〒379-2192 群馬県前橋市小屋原町1154-4 共愛学園前橋国際大学 国際社会学部長 大森昭生
 E-mail:omori@c.kyoai.ac.jp Tel(027)266-7575
 その他 【任期】3年（ただし、再任を妨げず、再任後は任期がありません）
 本公募の詳細は「JREC-IN研究者人材データベース」（<http://jrecin.jst.go.jp>）をご覧ください

■山梨大学大学院医学工学総合研究部

- 募集人員 助教 1名
 所属 大学院医学工学総合研究部・医学工学融合学域・生体環境医工学系に所属し、工学部コンピュータ・メディア工学科において、学生の教育、研究指導を行っていただきます
 専門分野 メディア工学に関連する次の諸分野およびこれらの医工学応用分野、計算言語学、自然言語処理、テキストマイニング、情報検索、バイオ情報学
 担当科目 学部における実験（実習）、講義・演習 など
 応募資格 関連分野において博士の学位を有するか、着任後1年以内で取得見込みの方
 着任時期 平成23年4月1日
 提出書類 履歴書（連絡先とE-mailアドレスを明記）、研究業績リスト（学術論文、国際会議、著書、総説、発明・特許、口頭発表、外部資金など）、主要論文別刷（5編以内、コピー可）、これまでの研究概要（1000字程度）、着任後の教育・研究についての抱負（2000字程度）、推薦書、または応募者について意見を伺うことができる方の氏名と連絡先
 応募締切 平成22年10月8日（必着）
 送付先/照会先 〒400-8511 山梨県甲府市武田4-3-11 山梨大学大学院医学工学総合研究部コンピュータ・メディア工学専攻 専攻主任 岩沼宏治 E-mail:iwanuma@yamanashi.ac.jp Tel/Fax(055)220-8480 「教員公募 KM」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則返却いたしません
 その他 【選考方法】第1次選考（提出書類による選考）、第2次選考（プレゼンテーションを含む面接）
 【任期条件】なし（常勤）

■公立大学法人首都大学東京／東京都立産業技術高等専門学校ものづくり工学科

- 募集人員 准教授 1名
 専門分野 情報工学・コンピュータハードウェア等（電子情報工学）
 担当科目 情報工学、コンピュータハードウェア、コンピュータ設計法、情報処理、電子情報工学実験実習、ゼミナール、卒業研究、特別研究、その他
 応募資格 高専教育・研究に理解と強い意欲がある方。学生指導に熱意を持ち、本校の運営に積極的に貢献できる方。博士の学位を有する方、もしくは同等の顕著な研究業績の認められる方。産学連携等の社会貢献に熱意のある方
 着任時期 平成23年4月1日
 応募締切 平成22年10月22日（必着）
 照会先 【公募全般に関して】公立大学法人首都大学東京 総務部人事課人事制度係 E-mail:kyoinsaiyo@jmj.tmu.ac.jp
 Tel(042)677-1111(代) (ext. 1028)
 【専門分野に関して】高専品川キャンパス 教務主事 渡辺和人 E-mail:watanabe@s.metro-cit.ac.jp Tel(03)3471-6331
 その他 詳細は当大学法人のWebページ（http://www.tmu.ac.jp/kikaku/employ/mcit_teacher.html）をご覧ください

■群馬工業高等専門学校電子情報工学科

| | |
|------|---|
| 募集人員 | 教授または准教授 1名 |
| 専門分野 | 情報工学 |
| 担当科目 | 専攻科、電子情報工学科などにおける、情報関係科目および卒業研究・専攻科特別研究指導等 |
| 応募資格 | 博士の学位を有し、教育・研究・学生指導および各種校務に熱意をもって当たられる方。科研費等外部研究資金獲得に意欲のある方。地域の産官学との共同研究や出前授業など地域貢献に熱意のある方 |
| 着任時期 | 平成23年4月1日 |
| 提出書類 | 履歴書(市販の書式を用いE-mailアドレス記入)、研究業績リスト(レフリー付き論文・国際会議発表・著書・その他に分類のこと)、主要論文別刷(5編以内、コピー可)、これまでの研究概要(A4用紙1000字程度)、着任後の教育・研究に関する抱負(A4用紙2000字程度)、推薦書1通 |
| 応募締切 | 平成22年10月29日(必着) |
| 送付先 | 〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580 群馬工業高等専門学校総務課人事・労務係 「電子情報工学科 教員応募書類」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則として返却いたしません |
| 照会先 | 電子情報工学科長 鶴見 智 E-mail:tsurumi@ice.gunma-ct.ac.jp Tel(027)254-9282 (ダイヤルイン) |
| その他 | Webページ (http://www.gunma-ct.ac.jp/) |

■弘前大学大学院理工学研究科／理工学部電子情報工学科併任

| | |
|---------|--|
| 募集人員 | 准教授 1名 |
| 専門分野 | 情報工学、情報科学、計算科学 |
| 担当科目 | 理工学部電子情報工学科：電子工学分野の専門基礎科目、情報工学分野の専門科目(「コンピューティング」、「データベース」、および「人工知能」)、研究指導に関連した科目 理工学研究科電子情報工学コース：専門分野に適合した大学院の科目、研究指導に関連した科目 |
| 応募資格 | 工学系あるいは理学系の博士の学位を有し、上記専門分野のいずれかの研究業績のある方。上記担当科目のすべての科目を担当できる方(理工学研究科電子情報工学コースおよび理工学部電子情報工学科では、電子工学、情報工学、情報科学およびこれらの融合領域の教育と研究指導を、バランスのとれたカリキュラムによって実践しています。そのため、情報系分野の教員にも、電子工学分野の専門基礎科目を担当していただきます)。材料工学から生命科学にいたる広い研究分野を情報工学の立場から支援できる方 |
| 着任時期 | 平成23年4月1日以降のできるだけ早い時期 |
| 提出書類 | 履歴書、研究・教育業績リスト*、これまでの競争的資金の獲得状況、主要論文別刷(5編、コピー可)、これまでの研究業績概要(2000字程度)、研究・教育に関する抱負(1000字程度)、応募者への照会可能者2名の氏名と連絡先 *フォーマットについては、Webページ (http://www.hirosaki-u.ac.jp/saiyo/index.html) 該当公募書類の「12.その他」をご覧ください |
| 応募締切 | 平成22年10月29日(必着) |
| 送付先/照会先 | 〒036-8561 青森県弘前市文京町3 弘前大学大学院理工学研究科 電子情報工学コース長 深瀬政秋 E-mail:sifuka@eit.hirosaki-u.ac.jp Tel(0172)39-3630 「専任教員(情報工学)応募書類」と朱書き書留 *応募書類は返却いたしません |
| その他 | 【選考方法】(1)書類選考、(2)候補者に対する面接(交通費、宿泊費等は応募者負担) 弘前大学では、男女共同参画を推進しており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します |

■電気通信大学大学院情報理工学研究科

| | |
|------|--|
| 募集人員 | 教授または准教授 1名 |
| 所属 | 情報・通信工学専攻 |
| 専門分野 | 上記専攻の情報数理工学コースにおいて、以下の専門分野の教育・研究に携わっていただく 現象の数値モデルと数値解析(たとえば量子計算・マルチスケールコンピューティング・マルチフィジックス・バイオインフォマティクスなどモデリングとシミュレーションによる解析に関する研究分野) |
| 担当科目 | シミュレーション理工学およびハイパフォーマンスコンピューティングに関する学部・大学院の科目 |
| 応募資格 | (1)博士の学位を有する、またはそれと同等の能力を有する方。(2)上記の専門分野において実績があり、教育と研究を通して同分野の発展に貢献できる方。(3)日本語により学生を指導できる方。(4)具体的な現象に精通し、数値モデルを立て、その解析を超並列計算などの高度な計算技術を用いて行うことのできる方 |
| 着任時期 | 平成23年3月1日(以降のできるだけ早い時期) |
| 提出書類 | 応募申請書類(履歴書、研究業績リスト)、主要著書、論文別刷(5編以内、コピー可)、研究概要と今後の研究計画書(A4用紙3枚程度で応募資格(4)との関連を明示のこと)、今までの教育経験と教育に関する抱負(A4用紙2枚程度)、参考となる意見を伺える方国内2名・国外2名のお名前・所属・連絡先住所(E-mailアドレスを含む)および応募者との関係 |
| 応募締切 | 平成22年11月12日(午後5時必着) |
| 送付先 | 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報理工学研究科情報・通信工学専攻 専攻長 岩崎英哉 「現象の数値モデルと数値解析分野教員応募書類」に朱書き簡易書留 *発送の旨を下記照会先へE-mailによりお知らせください |
| 照会先 | 情報・通信工学専攻 教授 山本野人 E-mail:yamamoto@im.uec.ac.jp Tel(042)443-5349 |
| その他 | 提出書類の様式など詳細は上記照会先まで |

■電気通信大学情報理工学研究科総合情報学専攻

募集人員 助教(常勤) 1名
 所属 情報理工学部総合情報学科および情報理工学研究科総合情報学専攻
 専門分野 応用セキュリティ(コンテンツ・DB保護, プライバシー保護, 情報フロー・アクセス制御, リスク管理, システム系セキュリティ, Web・メールセキュリティ, 認証, フォレンジクス, ユビキタス・クラウドセキュリティなど)
 担当科目 実験, 演習などから1, 2科目程度. 学部や大学院の研究指導にかかわることも可
 応募資格 採用時に博士の学位を有しており, 博士号取得後10年以内であること, など
 着任時期 平成23年4月1日までのできるだけ早い時期が望ましい
 提出書類/送付先 下記Webページをご覧ください
 応募締切 郵送により平成22年11月12日(17時必着)
 照会先 情報理工学研究科 総合情報学専攻 吉浦 裕 E-mail:yoshiura@hc.uec.ac.jp Tel(042)443-5539
 その他 【任期】採用日から5年間. 資格審査を経て任期のない准教授(定年制)への昇任の可能性あり. 准教授昇任見送りの場合は, 転出等の準備のために, 最長2年間任期を延長することができます
 詳細はWebページ(http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/ad_20100818.pdf)をご覧ください

■電気通信大学大学院情報理工学研究科

募集人員 教授または准教授 1名
 所属 情報理工学研究科総合情報学専攻
 専門分野 経営情報学(たとえば, ERP, SCM, CRMなどの基幹系業務アプリケーション, BI, KMなどの業務支援アプリケーション, および電子商取引などのビジネスアプリケーションに関する研究分野)
 担当科目 経営情報(生産, 販売, 財務情報等を含む)ならびにシステム関連の学部・大学院の専門科目. 学部の基礎教育科目についても担当することがある
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院生の指導が可能な方. 経営情報学分野において実績があり, 教育と研究を通して同分野の発展に貢献できる方. 総合情報学科および同専攻の運営に積極的に参画していただける方
 着任時期 平成23年1月1日(以降のできるだけ早い時期)
 提出書類 応募申請書類, 主要論文等別刷, 研究概要と今後の研究計画書, 教育経験と教育に関する抱負, 参考となる意見を伺える方国内2名, 国外2名の氏名・連絡先・応募者との関係, 返信用封筒(詳細は下記「その他」欄記載のWebページを参照ください)
 応募締切 平成22年11月12日(必着)
 送付先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学情報理工学研究科総合情報学専攻事務室(西5-305) 専攻長 尾内理紀夫
 「経営情報学分野教員応募書類在中」と朱書き簡易書留, 併せて照会先へE-mailで件名「経営情報学分野教員応募」として連絡
 照会先 総合情報学専攻 由良憲二 E-mail:yura@se.uec.ac.jp Tel(042)443-5266
 その他 本学では, すべての教員が学術院に所属し, 担当学部・研究科等へ配置されます
 本学では男女共同参画を積極的に推進しており, 女性の方の応募を歓迎します
 本公募の詳細はWebページ(<http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>)中の「募集案件」経営情報学分野を参照ください

■福岡工業大学情報工学部情報システム工学科

募集人員 教授または准教授 いずれか1名
 専門分野 システム制御工学分野
 担当科目 システム工学(システム制御工学, 情報処理工学実験 等)
 応募資格 専門分野の研究業績がある方, 博士の学位を有する方. 大学院の教育, 研究指導が可能な方. 実験系の研究開発を行っている方が望ましい. 教育歴のあることが望ましい
 着任時期 平成23年4月1日
 応募締切 平成22年11月26日(必着)
 提出書類 履歴書(学歴, 職歴, 学会および社会における活動等), 研究業績リスト(査読付き論文とその他の論文を区別すること, また, 外部資金の獲得実績や特許などもあれば記載すること, なお, 詳細については問合せください), 主要論文別刷(5編程度)*, これまでの研究概要と今後の研究計画, 教育歴(これまでの担当科目や教育改善の取り組み, オープンキャンパスなどでの展示, 出前講義などについてもあれば記載すること), 教育に対する抱負(JABEE認定を含む, 1000字程度) ※紙での提出のほか, 電子ファイルなどのデジタルデータでも提出してください. ただし, *は除く
 送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310
 「情報システム工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として応募書類は返却いたしません
 照会先 情報システム工学科 学科長 高崎佳明 E-mail:takasaki@fit.ac.jp Tel(092)606-5704(ダイヤルイン) Fax(092)606-0754(学科事務室)
 その他 本学は65歳定年です

■帝京大学理工学部ヒューマン情報システム学科

募集人員 助教 1名
 所属 学部：理工学部ヒューマン情報システム学科
 大学院：理工学研究科
 専門分野 先端ロボティクス、ヒューマンサイエンス関連
 担当科目 学部：ロボット科学、人間工学、ロボット製作演習、ヒューマンシステム実習、工学基礎実験など
 大学院：先端ロボット科学など
 応募資格 採用時に博士の学位を有していること、上記専門分野で研究業績のある方、ロボットコンテスト等参加学生への指導に熱意のある方
 着任時期 平成23年4月1日
 提出書類 履歴書、業績リスト、主要論文別刷(3編以内)、所属学会、社会における活動状況、特許、外部資金の取得状況、これまでの研究概要(A4用紙1枚以内)、今後の教育と研究に対する抱負(A4用紙1枚以内)、所見が聞ける人のリスト2名程度
 応募締切 平成22年11月30日(必着)
 送付先/照会先 〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 帝京大学理工学部ヒューマン情報システム学科長 熊澤弘之
 E-mail:kuma@ics.teikyo-u.ac.jp Tel(028)627-7177
 「教員応募書類在中」と朱書し簡易書留 *原則として応募書類は返却いたしません
 その他 【任期】5年(任期なし助教への移行も可能)

■北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科

募集人員 助教 1名(任期付き)
 所属 システム知識領域
 専門分野 経済学・社会学等の分野において、複雑系の考えに基づき、シミュレーションという合成的方法と社会調査やインタビューなどの分析的方法を組み合わせた制度研究を志向し、システム知識領域における知識科学を発展させる教育・研究分野
 応募資格 着任時に博士の学位を有し、上記分野の教育および研究に熱意を有する方
 着任時期 平成23年4月1日以降できる限り早い時期
 提出書類 履歴書、業績リスト(研究論文を、学術論文、国際会議(査読有・無)、著書等に区別、年代の逆順(最近のものから過去にさかのぼる形)で列記してください。また、学術雑誌の編集委員、国際会議のプログラム委員等学術的貢献も含めてください。科研費等の外部資金獲得、受賞、特許出願など選考の参考になる事項についても列記してください)、主要論文別刷(3編、コピー可)、主要研究概要と今後の研究計画(4000字程度)、教育に対する抱負(2000字程度)、応募者本人の連絡先(郵便宛先とE-mailアドレス)、推薦書2通、または意見を伺える方2名の氏名・所属と連絡先(E-mailアドレス)
 応募締切 平成22年12月1日(必着)
 送付先/照会先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科長 國藤 進 E-mail:ks-dean@jaist.ac.jp
 Tel(0761)51-1152 Fax(0761)51-1149 「教員応募書類在中(システム知識領域・助教)」と朱書し簡易書留
 その他 本学に関する情報についてはWebページ(<http://www.jaist.ac.jp/index-jp.html>)をご覧ください

■豊田工業大学工学部工学部先端工学基礎学科

募集人員 教授あるいはTenure track教授 1名
 専門分野 知的情報処理。たとえば、学習理論およびその応用、情報理論およびその応用、インテリジェントシステム、コンピュータビジョンなど
 応募資格 知的情報処理の分野で特に優れた研究業績と高い研究能力を有し、当該研究分野の先導的研究を推進し、研究成果が大いに期待できる方。さらに理工系の博士の学位を有し、知的情報処理研究室教員として学部および大学院における研究指導ができる方。教育面においては、数学、プログラミング等の基礎科目および機械学習、情報理論、信号処理等に関する学部、大学院における専門科目の授業が担当できる方。
 着任時期 平成23年9月、もしくはできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷(5編程度、コピー可) これまでの研究の要約、および着任後の研究計画・教育についての抱負(各々2000字程度)、推薦者2名の氏名・所属・連絡先、本学指定の応募シート(下記Webサイトの該当分野募集要項よりダウンロードしてください)
 応募締切 平成22年12月20日(当日消印有効)
 送付先 〒468-8511 愛知県名古屋市天白区久方2-12-1 豊田工業大学総務部 平戸 隆 Tel(052)809-1750 Fax(052)809-1734
 「知的情報分野公募書類在中」と朱書し簡易書留 *応募書類は返却いたしません
 照会先 知的情報処理分野選考委員会委員長 教授 成清辰生 E-mail:n-tatsuo@toyota-ti.ac.jp Tel(052)809-1816
 その他 本学指定の応募シート(提出書類)の入手および「豊田工業大学におけるTenure Track制」については、Webページ(<http://www.toyota-ti.ac.jp/bosyu/index.html>)を参照してください

■静岡理科大学工学部電気電子工学科

- 募集人員 教授、准教授、講師または助教のいずれか 1名
- 専門分野 パターン認識、認証、視聴覚・センサ情報処理分野
- 応募資格 関連する分野の博士の学位(またはPh.D.)を有する方、またはこれに準ずる方(職位との関連もあるので、ご相談ください)。パターン認識、認証技術を中心に、音響工学、生体情報工学、帯域圧縮、暗号化等多彩な技術にかかわり、ユビキタス社会に貢献できる方。FPGA等による情報処理回路を自作し、学生と一緒に物作りを行える方。これまでの経験を活かしてセミナー、卒業研究および学生の課外活動などの指導ができ、学生に「やamaiか精神」を鼓吹できる方。画像工学、マルチメディア工学など専門科目と電気電子回路など電気系基礎科目に関する実験・演習を担当し、教育、研究および学科の運営に熱意を持って当たれる方。企業あるいは研究機関での実務経験のある方。本学の理念に賛同し、私立大学での教育・研究・社会貢献に理解がある方。大学院修士課程の教育および研究指導ができる方
- 着任時期 平成23年4月1日が望ましい(相談に応じます)
- 提出書類 履歴書、研究業績リスト(企業の技報等に掲載された論文や特許なども含む、リストは著書、有査読学会原著論文、国際学会口頭発表、国内学会口頭発表、特許、その他に分類してください)、教育実績、主要論文別刷(5編以内、コピー可)、着任後の教育・研究に対する抱負(A4用紙2枚程度)、応募者本人に関する所見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先(住所、電話番号、E-mailアドレスなど)および応募者との関係などの情報 *書類はすべてA4用紙を使用してください
- 応募締切 平成23年1月7日(必着)
- 送付先 〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2 静岡理科大学事務局総務課 Tel(0538)45-0111(代表) Fax(0538)45-0110
「電気電子工学科教員(パターン認識、認証等)応募書類在中」と朱筆し書留 *応募書類は、原則として返却いたしません
- 照会先 電気電子工学科 学科長 教授 郡 武治 E-mail:kohri@ee.sist.ac.jp Tel/Fax(0538)45-0146(直通)
- その他 【待遇】本学の規定による
Webページ (<http://www.sist.ac.jp/>)

情報処理学会 第73回全国大会
【グリーンIT 一人類の未来のための情報処理技術ー】
一般・学生セッション、デモセッション
講演募集案内

【会期】2011年3月2日(水)～4日(金)
【会場】東京工業大学 大岡山キャンパス
 (東京都目黒区大岡山 2-12-1)

第73回全国大会ホームページ
<http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/73kai/>

情報処理学会では、第73回全国大会の一般・学生セッション、デモセッションの講演申込受付を以下のとおり行います。毎回1,200件を超える発表申込を頂き活発な議論、意見交換、交流が行われております。皆様の研究成果発表の場として、是非とも奮って御申込下さい。

【募集分野】

以下の分野で募集を行います。
 詳しくは第73回全国大会ホームページをご覧ください。

1. アーキテクチャ
2. ソフトウェア科学・工学
3. データベースとメディア
4. 人工知能と認知科学
5. ネットワーク
6. セキュリティ
7. インタフェース
8. コンピュータと人間社会

【講演募集内容と使用言語】

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
 (情報技術の学術・技術の振興に寄与する研究成果の発表)
2. 発表は日本語または英語とします。

【講演申込資格】

| 申込種別 | 資格 |
|---------|-----------------------|
| 一般セッション | 不問 |
| 学生セッション | 高専・大学学部・修士(博士前期課程)在学者 |
| デモセッション | 不問 |

【講演時間(質疑応答含む)、論文頁数】

| 講演申込種別 | 講演時間 | 原稿頁 |
|---------|------------|----------|
| 一般セッション | 20分 | 2頁 |
| 学生セッション | 15分 | 2頁 |
| デモセッション | 1-3日(1日単位) | 2頁(提出任意) |

【講演申込・原稿投稿日程】

講演申込・原稿投稿受付開始:平成22年9月13日(月)
 講演申込・修正・取消 締切日:平成22年11月19日(金)
 原稿投稿・差換え締切日 :平成23年1月14日(金)

【講演申込・原稿投稿方法】

講演申込、原稿投稿は、標記の第73回全国大会ホームページからお願い致します。

【講演申込にあたっての注意事項】

- *講演申込は講演発表者ご本人様で行って下さい。
- *講演申込締切後の申込情報変更は、一切受けません。
- *講演の代理(代読)は原則として認めません。
- *講演キャンセルの連絡は、必ず電子メールにて次のアドレスまでお願い致します。[ipsj73@gakkai-web.net]
- *講演申込登録締切後に講演をキャンセルされましても、講演参加費および論文集代(希望者のみ)はお支払い頂くことになりますのでご注意ください。

*講演申込登録をされた情報のうち書誌情報(標題、講演者および共著者の名前・所属、論文要旨)、および原稿は、情報処理学会電子図書館(情報学広場)に掲載いたしますので予めご承知置き下さい。なお、掲載時期は論文の公知日(大会初日)から3ヶ月経過以降の予定です。

【講演参加費・講演論文集代(税込)】

| 申込種別 | 会員種別 | 費用(税込み) |
|-------------------------------|-------|---------|
| 一般セッション 学生セッション デモセッション | 正会員 | 10,000円 |
| | 学生会員 | 6,000円 |
| | 一般非会員 | 25,000円 |
| | 学生非会員 | 15,000円 |
| 講演論文集(希望者のみ) | 全種別 | 8,000円 |

- *会員とは、講演者が 本会の会員番号をお持ちの個人会員の方です。但し本会に入会申請中の方も会員費用で申込みます。
- *本会に入会申請中の方は11月19日(金)までに入会申請を完了してください。期日までに入会申請がされていない場合は入会申請中で講演申込をされても非会員の講演費を請求させていただきます。
- *電子情報通信、電気、映像情報メディア、照明の会員番号をお持ちの個人会員の方は会員費用で申込みます。
- *講演参加費には、講演料、全論文収録のDVD-ROM、大会参加費、本人論文の別刷り50部が含まれます。
- *講演者の方には、ご自身の論文が掲載されている講演論文集1部に限り、講演申込同時予約販売をいたします。ご希望の方は、講演申込書またはデモセッション申込書の講演論文集欄を「希望する」にチェックしてください。
- *デモセッションは上記講演参加費で1日デモを行えます。従って2日デモを行う場合には2倍、3日ならば3倍の講演参加費が必要となります。
- *一般または学生セッションでの講演とデモセッションを行う場合には、一般または学生セッションの講演参加費とデモセッションの講演参加費それぞれが必要となります。

【表彰について】

全国大会では、発表された論文の中から優秀な論文、発表に対して以下の賞を贈呈いたします。なお、大会優秀賞、大会奨励賞については、当会の個人会員に限ります。

| 賞の種類 | 受賞者 |
|---------------------|--|
| 大会優秀賞 | 全国大会で発表された方のうち、特に優秀な論文の登壇発表者10名前後。 |
| 大会奨励賞 | 学部在学から卒業後10年までの新進の科学者または技術者の論文の登壇発表者10名前後。 |
| 学生奨励賞 | 各学生セッションで発表された中から、優秀な発表と判断された1名に対して大会のローカルアワードとして授与(該当なしの場合もあり)。 |
| 学会推奨 卒論・修論 認定 | 学生セッションで発表された認定希望者の中から、学会による卒業論文・修士論文の推奨認定 |

【講演機器】

講演機器は、プロジェクターになります。接続ケーブルは、Mini D-sub15ピンです。ノートPCは、準備しておりませんので各自で必ずご持参願います。

【大会最新情報の掲載】

講演申込に関する詳細、大会で開催予定の招待講演、特別セッション等イベント企画の詳細等第73回全国大会に関する最新情報は大会ホームページへ逐一掲載してまいりますので御確認下さい。

【問合せ先】

一般社団法人情報処理学会 事業部門
 Tel.03-3518-8373 Fax.03-3518-8375
 e-mail:jigyo@ipsj.or.jp

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

| 件名 | 内容 | 掲載単位 | 掲載料金（消費税込） | |
|---|--|-----------------------------|-----------------|----------|
| 論文募集／ 参加者募集 | 国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集 | 1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ | (主催・共催) | |
| | | | 1 ページ | 52,500 円 |
| | | | 1/2 ページ | 31,500 円 |
| | | | 1/4 ページ | 21,000 円 |
| | | | (協賛) | |
| 広告として取り扱う | | | | |
| 人材募集 | 国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集 | 10 行程度 | 国公立教育機関，国公立研究機関 | 21,000 円 |
| | | | 賛助会員（企業） | 31,500 円 |
| | | | 賛助会員以外の企業 | 52,500 円 |
| * 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。 | | | | |

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
(1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
(1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
(1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。
- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

ご意見をお寄せください!

【10月10日頃までにお出しください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq5109.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別: (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号 (2010年9月号) の記事はお役に立ちましたか、下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]

特集: センシングネットワーク

1. 社会創造に資するセンシングプラットフォーム 10-1- []
2. センシングデータ処理基盤技術 10-2- []
3. センサアクチュエータネットワークの情報処理基盤 10-3- []
4. コピキタス情報社会のプライバシーとその保護技術 10-4- []
5. プローブ情報システム: 車載センサを活用した環境情報の取得 10-5- []
6. 防災情報取得の新しい展開 10-6- []
7. 携帯電話を用いたセンシングの可能性と課題 10-7- []
8. 参加型都市センシングによる価値共創モデルの可能性 10-8- []
9. Web 空間からの実世界情報の発掘 10-9- []
- 離散対数問題解読世界記録更新への道 10-10- []
- 古機巡礼/二進伝心: 「コンピュータ博物館」裏話 10-11- []
- ロボカップ道しるべ: 第1回 ロボカップ創世記 10-12- []
- 研究会推薦博士論文速報 10-13- []
- 記述の科学: 第2回 視点と形式的体系 10-14- []
- "I" 見聞録: IEEE/FIP NOMS 2010 10-15- []
- "I" 見聞録: AAMAS-2010 10-16- []

(11) 本号で最も良かった記事は何ですか? 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例: 10-8の記事の場合は「8」と記入), その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔11-1〕良かった記事 11-1- []
- 〔11-2〕選んだ理由 (下記から、いくつでも選択可) 11-2- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他 (具体的に下記にご記入ください)

(12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか? 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例: 10-8の記事の場合は「8」と記入), その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕良くなかった記事 12-1- []
- 〔12-2〕選んだ理由 (下記から、いくつでも選択可) 12-2- []
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他 (下記に具体的に記入ください)

(13) 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

(14) 会誌に対するご意見や感想、著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。
(スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください)

ネット上では地球の裏側の人が書いた情報がすぐ検索できるのに、置き忘れたものや自分が保存しておいた書類など、身近な物を見つけるのに苦労する。これまではそう思われていました。しかし、最近いろいろな情報がネットに上がるようになり、特に、誰がいつどこで何をしているのか、どこで夕立が降っているかなどが書き込みでリアルタイムに分かる twitter に威力を感じています。もちろん、それ以外にもいろいろな情報伝達ルートはあるでしょう。

本特集「センシングネットワーク」はそのような新しい情報伝達環境をテーマとしたものです。当初タイトルは、「ネットワークセンシング」とか「新しいセンサネットワーク」などの案もあったのですが、少し意味がずれるということで今回のタイトルになりました。ネットワークを基盤とする情報環境は日々進化しており、その新しい環境をうまくテーマとしてとらえるキーワードがないので、タイトルと内容のイメージの不一

致を感じた人がいらっしやるかもしれません。ですが、今回とりまとめをお願いした東京電機大学の戸辺先生による「編集にあたって」を読んでいただければ多少解消するのではないのでしょうか。この分野で起こっているさまざまなアプローチを取り上げましたが、もしかしたら1年後にはそれが当たり前になっているかもしれませんし、なくなっているかもしれません。急展開するこの分野を皆さんにも一緒に考えていただけたらと思います。さらにもし可能なら1年後でもいいので、私が先日なくした財布が出てきてほしいものです。

(塚本昌彦/本特集エディタ)



次号 (10月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」Linux のセキュリティ機能 (仮)

OS へのセキュリティ脅威と Linux の強制アクセス制御 / SELinux のアーキテクチャとアクセス制御モデル / セキュリティポリシー設定簡略化手法 / ラベルに基づくセキュリティの限界とその補完 TOMOYO Linux の設計思想と試み / 高信頼を実現する Linux の新しい機能 / Google Chrome OS の構成から見るセキュリティ対策

- 報告：記念大会が示した情報処理の未来—情報処理学会創立 50 周年記念 (第 72 回) 全国大会報告— (仮) …… 喜連川優 他
 解説：信頼性の高い温室効果ガス排出量取引のための情報技術 …… 佐藤史子
 NoSQL の世界 …… 松下雅和
 道しるべ：ロボカップ道しるべ …… 秋山善久
 連載：記述の科学 / 研究会推薦博士論文速報 / プログラミング、何をどう教えているか
 コラム：“I” 見聞録

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター (同協会より権利を再委託) と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません (社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

E-mail: info@jaacc.jp

Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

広告のお申込み

■広告料金表

| 掲載場所 | 4色 | 2色 | 1色 |
|----------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 表2 | 346,500円 (税抜330,000円) | — | — |
| 表3 | 288,750円 (税抜275,000円) | — | — |
| 表4 | 404,250円 (税抜385,000円) | — | — |
| 表2対向 | 315,000円 (税抜300,000円) | — | — |
| 表3対向 | 278,250円 (税抜265,000円) | 199,500円 (税抜190,000円) | 162,750円 (税抜155,000円) |
| 前付1頁 | 262,500円 (税抜250,000円) | 173,250円 (税抜165,000円) | 141,750円 (税抜135,000円) |
| 前付1/2頁 | — | — | 84,000円 (税抜80,000円) |
| 前付最終 | — | — | 155,400円 (税抜148,000円) |
| 目次前 | — | — | 155,400円 (税抜148,000円) |
| 差込 (A判70.5kg未満 1枚) | 288,750円 (税抜275,000円) | | |
| 差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚) | 367,500円 (税抜350,000円) | | |
| 同封 (A判 1枚) | 367,500円 (税抜350,000円) | | |

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 25,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」 51巻9号 掲載広告(五十音順)

- 17th ITS World Congress, Busan 2010… 目次前 ジェーエフピー…………… 前付最終上
- インタフェース…………… 表4 電子情報通信学会…………… 前付最終下
- オーム社…………… 表2対向

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp